



### 本紙特派員REPORT

## 県民公論社国際局長 西森 勢 NISHIMORI SEI

### ■ラオス・さいたま市水道協力30周年ラオス訪問

さいたま市が旧浦和市時代からラオス人民民主共和国の浄水場および上水道の技術協力をして、昨年30年を迎えたことを記念し、本紙国際局長でさいたま市民ラオス友好協会の西森勢会長(記者)とシーサワット パチョムボーン副会長(在日ラオス人)は、2月24日~2月28日にかけてラオスでの民間外交を展開した。

### ■2月24日 首都ビエンチャン到着

ワッタイ国際空港到着後、ビエンチャンにある副会長の叔父宅で宴席に与り、熱烈な歓迎を受け有意義なひとときとなった。

### ■2月25日~2月26日

### ビエンチャンからリゾート地・ムンフンへ



シーサワット副会長の家族・親戚のアテンダントで、リゾートキャンプ地「ラオスの桃源郷」と称されるムンフンの清流沿いに建てられた水上のバンガローで1泊。

翌26日の朝、托鉢に臨み、神秘的なメコン川の川上から乗船してきた僧侶たちにお布施、手を合わせた。

### ■2月27日 ラオス・日本武道センターを表敬訪問

平成21年(2009年)11月に、日本政府により建設された「ラオス・日本武道センター」は柔道、合気道、剣道などの武道を修学できる施設。



副会長は、ここで柔道の技を強化しているラオス人の選手たちに、陣中見舞いとして、テーピングサポートを贈呈。会長(記者)は、日本より派遣された指導員(柔道選手)である今一樹様に表敬のごあいさつを申し上げた。

### ■2月28日 首都ビエンチャンを巡り、帰国の途に

記者は、約8年ぶりにビエンチャンを巡り市井の様子を視察。車社会が一段と進み、朝夕のラッシュアワーが生じていることに隔世の感を禁じ得なかった。

そして、これまでになく進むインフレ、2月は前年比の41.3%という高い水準である。

ラオスの民衆が安穏に暮らせることを祈念し、民間外交を終え帰国の途に就いた。(国際局長 西森勢)

### 【解説】浦和市時代からのラオス友好関係を大切に

今回のラオス訪問は、水道協力30周年にあたって本市では何の記念行事も行われなことから、これでは国際儀礼に反すると危惧した、さいたま市民ラオス友好協会と本紙国際局が、市と水道局の至らない「国際対応」をサポートして、本市の名誉を保つために行った自主的民間外交のひとつです。(臣)



市民と市政のかけはし  
**KenminKoron** 昭和38(1963)年創刊 60周年

令和5年度施政方針 **さいたま市長 清水 勇人**

# 上質な生活都市・東日本の中枢都市実現へ

### ■本年は政令指定都市移行・区政施行20年

- 平成13(2001)年5月1日に浦和市、大宮市、与野市の合併で誕生。
- 平成15(2003)年4月に政令指定都市への移行→本年で20周年。
- 平成17(2005)年4月に岩槻市との合併。人口約134万人を擁する首都圏を代表する大都市へと発展。

### ■さいたま市の成長力 市内外から高い評価

- 人口の増加数=令和2(2020)年、令和3(2021)年連続全国1位。
- 0歳から14歳までの子どもの転入超過数=平成27(2015)年から令和3年まで7年連続で全国1位。本市は子育て世代を中心に選ばれる都市となっております。
- 財政の健全性=政令指定都市中、財政力指数は3番目に高く、健全な財政状況を維持しています。
- 市民一人当たりの市債残高は2番目に低い。
- 市民満足度(今年度の市民意識調査)
- 本市を「住みやすい」と答えた市民の割合は87.2%、
- 本市を「住み続けたい」と答えた方は87.1%、過去最高の結果。
- 3年連続でいずれの割合も85%を超える結果となりました。
- 「全国市区SDGs先進度調査」(日本経済新聞社 本年1月発表)
- 前回調査に続き2回連続で総合1位。民間のランキングにおいても高い評価をいただいています。

### ■さいたま市の新時代に向けて

- 感染症を克服し、真に災害に強いレジリエントシティを目指す。
- ポストコロナの新たなさいたま市の創造。
- 誰一人取り残さず、誰もが住みやすく持続可能な地域社会実現。
- 新たな時代に対応する市役所の創造。

### ■令和5年度予算案(過去最大)の概要

### ポストコロナを見すえ、さいたま市新時代へのシンカ(進化・深化・真価)に取り組む予算

- 来年度の一般会計当初予算総額は、
- 対前年度比5.0%増で6,690億円、過去最大の予算規模。
  - 特別会計予算総額は3,244億円、
  - 企業会計予算総額は1,354億円、
  - 全会計予算総額は過去最大の1兆1,289億円となりました。

### ■令和5年度の主な事業等

- 感染症や自然災害に備えた強靱な都市づくり
- ポストコロナを見据えたさいたま市の魅力づくり
- 誰一人取り残さない持続可能でインクルーシブな地域づくり
- 公民学共創と質の高い市役所づくり

### ■総合振興計画の重点戦略 ■関連事業

- 1 先進技術で豊かな自然と共存する環境未来都市の創造
- 2 一人ひとりが“健幸”を実感できるスマートウエルネスシティ創造
- 3 笑顔あふれる日本一のスポーツ先進都市の創造
- 4 子どもたちの未来を拓く日本一の教育都市の創造
- 5 ヒト・モノ・情報呼び込み、東日本の未来を創る対流拠点都市創造
- 6 子どもから高齢者まで、あらゆる世代が輝けるまちづくり
- 7 激動する新時代に「未来技術」で躍動する地域産業づくり
- 8 災害に強く、市民と共につくる安全・安心なまちづくり
- 9 環境に配慮したサステナブルで快適な暮らしの実現
- 10 絆で支え合い、誰もが自分らしく暮らせるまちづくり
- 11 質の高い都市経営の実現

### ■「悠々として急げ」

「悠々として急げ」という言葉があります。何事も周到な準備と計画、そして機を捉えて実行することが肝要である、という意味が込められています。これまで多くの先人たちの長年の努力により、築かれた歴史や伝統、磨かれた文化、発達した都市機能、水と緑豊かな自然環境。いままさに、本市が有するこれらの貴重な財産を次の時代に伝え、未来を生きる子どもたちが希望を持って歩いていけるよう、新たなチャレンジに取り組んでいかなければなりません。

### 「上質な生活都市」「東日本の中枢都市」

という都市像の実現に向け、私は引き続き

- ・「責任と共感・共汗」、
- ・「徹底した現場主義」、
- ・「公平・公正・開かれた市政」の基本姿勢を貫き、皆様とともに力を合わせ、一歩ずつ着実に歩みを進め本市の未来を全力で拓いてまいります。

(令和5年2月1日 さいたま市議会本会議場)

県民公論社は、さいたま市と共に、市民満足度の向上とSDGsの達成に向けて取り組む「CS・SDGsパートナーズ共同宣言」を締結。

本紙はSDGs推進の環境適正印刷方式で作成されています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

県民公論 電子版





### 念仏橋架け替え

**Q【神崎功】** 老朽化への不安の声が聞かれる、念仏橋(緑区大字下山口新田)の架け替え事業と今後のスケジュールについて伺いたい。

**A【小川博之 副市長】** 現在の進捗は、令和2年度に、設計の完了に伴い、本市と埼玉県で「念仏橋架換の施行に関する基本協定」を締結し、架け替え事業に着手した。令和3年度は、念仏橋南側に設置する迂回路に必要な用地交渉を行い、今年度は迂回路整備のための地盤改良工事に着手。令和5年度より仮橋の設置工事、本線の切替を予定。その後、旧橋撤去、新橋設置、築堤工事を行い、早期完成に向けて事業を進める。



### 道路照明一斉LED化

**Q【鶴崎敏康】** SDGs実現の“切り札”と考えられる道路照明灯の一斉LED化について。今後の計画について伺いたい。

**A【小川博之 副市長】** 令和5年度より道路照明灯の一斉LED化を実施する予定。現在は、年間300基ずつLED化をしており、令和6年度末に、道路照明灯のLED化が一斉に完了する見込みとなっている。さらに、道路照明を一斉にLED化することで、令和4年度の単価で試算すると、電気代が年間約1億5千万円の削減、及び二酸化炭素排出量が、約57%の削減を見込んでおり、議員ご指摘のSDGsの推進に寄与するものと考えます。



### 宇宙のまちづくり

**Q【井原隆】** 宇宙分野の最前線で活躍するような子どもたちを育成する礎となる科学教育の充実を広く推進するべき。

**A【細田真由美 教育長】** 本市にはJAXAの宇宙飛行士の選考を勝ち抜いてきた井原議員を含め、宇宙に関わる優秀な人材や大学や企業の研究者等多数おいでになる。教育委員会としては、研究者、多数おいでの方のご協力を得て、宇宙時代に活躍する人材を育成するカリキュラムを考える。市民とともに、子どもたちへの宇宙のあこがれと、将来は宇宙飛行士になるんだとか宇宙産業で働きたいという、大きな志を育む教育を柱とした「宇宙のまちさいたま」を目指してまいります。



### 松本地域の水害対策

**Q【松下壮一】** 南区松本地区の浸水被害の軽減に向けた取り組み、令和4年10月に提出した治水対策に関する要望書を受けての対応、さくら川河川改修の進捗状況について伺う。

**A【小川博之 副市長】** 松本地域を含む流域の排水先であるさいたま市の下流にあたる戸田市「さくら川」を改修するため、平成11年に両市で基本協定書を締結後、さくら川の下流部より改修工事が進み、令和4年10月1日時点で、整備率約49%となっている。令和4年10月に、松本自治会連合会より、浸水被害軽減に向けた要望書を提出いただいたことから、先行して本市域内で行える効果的な治水対策について、検討に着手している。



### ジェンダー平等政策

**Q【添野ふみ子】** ジェンダー平等政策の推進について、本市の男女共同参画のまちづくりプランはどこまで成果を上げているか。

**A【日野徹 副市長】** 市民意識調査結果「男女共同参画のまちづくり条例」について「知っている」は平成28年度=34.9%、令和3年度=29.9%へと低下。「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に反対は、平成28年度=57.5%、令和3年度=71.8%へ大幅に上昇。これは、本市が男女共同参画のまちづくりプランに基づき、ジェンダー平等へ取り組んできた成果。

●ジェンダー平等実現に関する様々な取組紹介→



### 大宮駅前火災現場用地

**Q【高子景】** 大宮駅GCS(グランドセントラルステーション)化構想について、火災現場用地を先行取得することがGCSに対するやる気を示すことになるが、市の見解は。

**A【清水勇人 市長】** 昨年、火災の発生した現場については、検討を進めている駅前広場の区域内に位置しており、今後のGCS構想を推進していくうえで、大変重要な場所と考えている。先行取得していくには、関係権利者の意向が大変重要であることから、該当する権利者と話し合いを進めている。

●GCS グランドセントラルステーション構想→



### 学校・公民館洋式トイレ化

**Q【上三信彰】** 学校施設や公民館は災害が発生した際には避難所となるため、老人や子どものためにも、いつトイレの様式化率が100%となるのか。前倒して様式化を図るべき。

**A【細田真由美 教育長】** 学校施設のトイレ洋式化は、今年度は目標とするトイレ洋式化の80.5%達成の見込み。令和7年度までに、トイレ洋式化率90%達成を図り、100%となるよう努める。公民館では、リフレッシュ計画に基づき、便器の洋式化を図っている。令和4年度末の洋式化率は81.7%の見込みであり、令和11年度末までに洋式化が完了する予定である。今後も、リフレッシュ工事による洋式化を前倒して検討する。



### 緑区のスポーツ施設

**Q【都築龍太】** さいたま市の今後のスポーツ振興について、緑区の施設の候補地として、旧美園中の土地を検討するのはいかがか。

**A【清水勇人 市長】** 美園地区については、現時点では美園副都心地区内において市の未利用地の活用を含めた候補地の選定を進めている。議員ご提案の旧美園中学校の跡地、現在の美園臨時グラウンドですが、美園副都心地区内の未利用地の一つであることから、候補地となるかについては、今後関係課との調整も含め、可能性を検討する対象であると考えます。

●さいたまスポーツシュレの紹介→



### コミュニティ・スクール

**Q【玉井哲夫】** 教育委員会の施策の中で、今年度からすべての学校でコミュニティスクールが実施された。現時点でどのようにこれを把握し、評価されているのか伺う。

**A【細田真由美 教育長】** 本市では、学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有し連携・協働するコミュニティ・スクール制度を令和元年度より導入し、本年度から全校で実施する体制を構築した。教育委員会としては、今後も引き続き、「子どもの未来・地域の未来」のために、コミュニティ・スクールを核とした学校・地域づくりを推進する。

●コミュニティ・スクールについて詳しくは→



### 女性相談支援センター

**Q【金子昭代】** 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行にあたり、「女性相談支援センター」の設置を検討しているか。

**A【日野徹 副市長】** 本市としては、「女性相談支援センター」の設置などについて、国の基本方針や県の基本計画などを踏まえ、検討する。

●市の非正規職員の男女比はどうなっているか。

●令和4年4月1日現在、男性17.4%、女性82.6%。引き続き、会計年度任用職員制度の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、公務の重要な担い手である、会計年度任用職員の適正な処遇の確保に努める。



### タクシー労働者

**Q【竹腰 連】** タクシー労働者について、市が給付した支援金が現場の労働者の手元に行っていない実態を把握しているか。

**A【小川博之 副市長】** 今年度実施した「令和4年度さいたま市公共交通運行継続支援金」については、用途を限定せず、新型コロナウイルス感染症の対策費や人件費、燃料油費など様々な使い方が可能となっている。そのため、申請段階ではその使用目的を把握していない。

●市は、支援金の使い道を調査・発表すべきか。

●2月末に支援金を給付した事業者からの活用実績報告書により調査する。可能な範囲で公表についても検討する。



### 学校施設の地域開放

**Q【小柳嘉文】** 学校施設の空き時間について効率的な活用を図るため、地域に開放する等、多目的な活用を検討すべき。学校施設の今後の活用についての見解を伺う。

**A【小川博之 副市長】** 議員ご提案の、学校施設の空き時間の効率的な活用については、教育環境の確保や児童生徒の安全確保などの課題も想定され、実際の活用に関しては、施設の実情等を十分踏まえながら、個別具体的な地域ニーズに応じて検討する。一方で、幅広い市民の方にご利用いただくことで、市民サービスの向上や既存施設の有効活用に繋がるものと考えます。

# オールさいたまで夢と希望あふれる日本No.1の市役所新庁舎に!

県民公論・市民提案

●令和13年に新市庁舎ができます!

令和4年さいたま市議会4月臨時会(4.28/29)で、さいたま市役所の位置を改める条例議案が可決、令和13年度に新庁舎が「さいたま新都心」に建設されます。

●8年間にわたる「さいたま市夢と希望イベント」

新庁舎建設はお役所任せではなく、市民総がかり、オールさいたまで取り組むことにより、竣工まで約8年間の長期にわたる空前絶後の「夢と希望の一大イベント」として進めることができます。

●東日本中枢都市の拠点としての多機能新庁舎に

新市庁舎建設は、持続可能な開発目標(SDGs)の達成や環境配慮の取り組みのモデルケースとなるべきです。本紙には、多くの団体・サークルや自治会関係者等々の市民の皆様から、「新市庁舎は単なる役所ではなく、東日本の中枢都市拠点として、国家的役割も担う多機能複合庁舎とすべき」とのお声が寄せられています。

■「ダイバーシティ(多機能官民複合)新庁舎」希望施設

- ・保育所・住宅・多目的劇場・博物館・グルメタウン
- ・健康センター・病院・国際交流センター・国際会議場
- ・スポーツセンター・eスポーツ施設・体育館
- ・危機管理センター・オフィス・商業施設・テーマパーク
- ・ヘリポート・官公庁・学校(大学)・東日本行政施設

♥庁舎は木材を多く使ったハイブリット工法で。

♥駅から庁舎までのペDESTリアンデッキに動く歩道を。

市内小中学・高校・大学生こそ新庁舎利用の主人公!

市内全生徒・学生参加で新市庁舎の「夢&希望デザインコンテスト」実施を。

子どもの意見も聞いて!

僕たち・私たちのさいたま市役所夢&希望デザインコンテスト

令和5年2月さいたま市議会定例会代表質問特集

注目質問・答弁抜粋、要約(文責 本紙) \*詳しくはQRコードでご覧になれます